

計画事業番号	00402	事務事業名	太陽光発電システム等設置支援事業	担当部署	市民環境部環境課	電話	4111
--------	-------	-------	------------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	環境基本法第22条・第36条、北広島市環境基本条例第14条、北広島市住宅用太陽光発電システム設置事業補助金交付要綱				
事務事業開始年度	平成22年度	個別計画等	第2次北広島市環境基本計画(H23~H32) 北広島市地球温暖化対策実行計画(H27~H32)				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境に つつまれた安全なまち	
	(第 1 節) 環境の保全	
	(施策 1) 地球環境の保全	
2 対象	市民	
3 目的と内容	地球温暖化防止に向けて、一般住宅用太陽光発電システムの普及率を向上させるため、太陽光発電システムの設置に対する支援を行う。	
4 実施内容 (手 段)	2 8 年 度 ま で	太陽光発電システムの設置に対する補助 5万円/kw、上限15万円 (H22年度31件、H23年度25件、H24年度33件、H25年度33件、H26年度33件、H27年度35件、H28年度16件、累計206件)
	2 9 年 度	昨年と同様、太陽光発電システムの設置に対する補助を行う。 5万円/kw、上限15万円、38件

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
太陽光発電システムの設置に対する助成	太陽光発電システム設置に対する補助 (16件、2,226千円)	太陽光発電システムへの設置に対する助成		太陽光発電システムへの設置に対する助成		太陽光発電システムへの設置に対する助成	

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	統合	地球温暖化対策実行計画での設置目標設定(平成32年度までに850世帯)や、定住促進にも寄与することから、今後も現行の補助水準を維持していくこととするが、温暖化対策推進事業との統合により、温暖化対策での補助事業との総合的かつ効率的な推進を行うこととしたい。		
2次評価	統合	温暖化対策推進事業との効率的な推進を行うこと。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			2,240		5,726		6,026		6,026	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		5,700		0		0	
		一般財源	2,240		26		6,026		6,026	
	① 合計	2,240		5,726		6,026		6,026		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	2,940	0	2,940	0	2,940	0	2,940	0	
総事業費①+④			5,180		8,666		8,966		8,966	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
活動指標	① 太陽光発電システム設置補助件数	目標値 実績値	40 16		38		40		40	
	②	目標値 実績値								
	③	目標値 実績値								
	④	目標値 実績値								
成果指標	① 【指標の定義(算式等)】	目標値 実績値								
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値 実績値								
	③ 【指標の定義(算式等)】	目標値 実績値								

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	地球温暖化対策及び自然エネルギー利用となる太陽光発電については、個人が自らの意思で進められる環境保全への取組として国全体で普及を進めており、本市においても環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画に基づき推進しているものである。また、定住促進に寄与するサービスの一環としても有益と考えられる。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	1	一般家庭の導入時における基本的な普及手段として適切かつ有効であると考えられるが、平成27年度以降は応募数が減少してきており、動向等の検証を行う必要がある。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	平成27年度からは応募数が定員に満たない状況となっていることから、動向等の検証を行うとともに、目的が同様な温暖化対策推進事業との統合により総合的かつ効率的な推進を行うこととしたい。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	2	地球温暖化対策・自然エネルギー利用は、国全体の問題であり、費用対効果の検証は難しいが、補助金額・件数等については、計画目標をもとに国や他自治体の動向を注視し、柔軟な対応をしていくこととする。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。